

# 第15回 全日本学生ドイツ語弁論大会 実施要項

## 記

- 日時：2014年(平成26年)12月6日(土) 午後1時00分より
- 場所：京都外国語大学 171 教室
- 主催：京都外国語大学
- 後援：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、オーストリア大使館、ゲーテ・インスティトゥート大阪、ドイツ学術交流会(DAAD)、京都日独協会、在日ドイツ商工会議所、毎日新聞社
- 協賛：ルフトハンザ ドイツ航空、(株)郁文堂、(株)三修社、(株)同学社、(株)朝日出版社、マンハイム大学、ドレーズデン工科大学、チューリヒ大学、ザルツブルク大学
- 出場資格：大学・短期大学在籍者(大学院生を除く)で、原則として以下のいずれかに該当しない者。
  - 1) ドイツ語を母語とする者
  - 2) ドイツ語で授業を行う教育機関(小、中、高等学校)に1年以上通った者、もしくはドイツ語圏での在住が通算で1年を超える者

※最終的に、主催者が判断を行う。
- 演題：自由(但し、本人によって作成された未発表のものに限る)
- 制限時間：5分間
- 申込締切：2014年(平成26年)10月18日(土) 午後5時(電子メール必着)  
下の内容を全て記し、doitsu-benron@kufs.ac.jp 宛にお申し込みください。  
\*氏名(漢字とローマ字)、年齢、性別、住所、電話番号、所属大学名・学部(学科)・学年、演題(日本語とドイツ語)を明記し、弁論要旨(日本語1,000字以内<後日、プログラムの作成時に使用する>)を提出すること。(Word 文書等でメールに添付すること)  
※応募者が多数の場合は、ドイツ語の原稿審査(11月中旬頃)により出場者の人数を  
一校あたり上限3名とする。
- 選考方法：演説の内容、表現力、発音、暗記力(大会当日はプロンプターをつけるが、暗記を前提とする)等により、弁論の結果を総合して入賞者を決定する。なお、弁論直後に、二次審査として審査員との簡単な質疑応答を行う。
- 審査員(予定)：大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館(1名)、ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川(1名)、ゲーテ・インスティトゥート大阪(1名)、DAAD(ドイツ学術交流会)(1名)
- 賞品：ヨーロッパ往復航空券(協力:ルフトハンザ ドイツ航空)、語学研修(ゲーテ・インスティトゥート)、書籍、図書カードなど
- 交通費：近畿地方2府4県(大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県)を除く遠方からの出場者には、現金(上限3万円)で支給される。ただし、交通機関の領収書(チケットのコピー可)が確認できない場合は、如何なる理由であろうと支給は行わない。

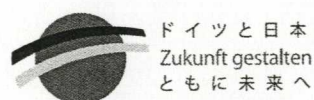
お申し込み/お問い合わせ先

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学ドイツ語学科

E-mail: doitsu-benron@kufs.ac.jp

Tel: (075) 322-6157・6155 (大会実行委員: 菅野・筒井)



**DAAD**  
ドイツ学術交流会

